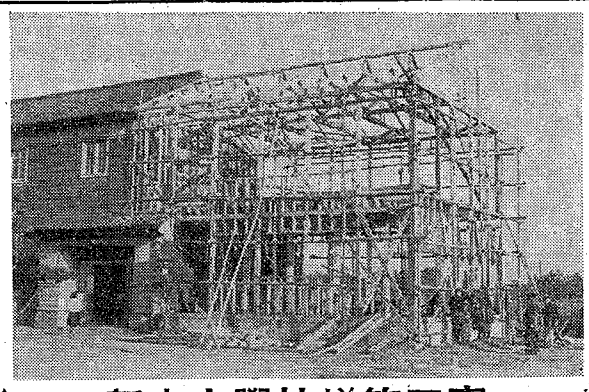
越谷町広報

編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
（1部2円．但本号に限り4円）
電話越谷42，517，519，522番

増頁号

五月は
自転車荷車税（全期）
葛西用水土地改良区（第一期）の
納期です



新方中學校増築工事
めでたく上棟

新方中学校木造瓦葺二階建校舎50坪6合の増築工事は、工費155万円をもつて、田川建設の手でその工事を進めおてりましたが、このほどめでたく上棟のはこびとなり、去る10日午後2時その上棟式を現場で挙行いたしました

子供と語る会（1）

＝主催　越谷町・町教委会・町民生委会＝

子供の日にちなみ、子供達は何を望み希望しているか、そして子供達を大いに励まそうと、町並びに教育委員会、民生委員会共催で、去る四日管内各小・中学校代表男女各一名の子供達四二名の出席をねがい、大人側から各種団体代表が参加して、役場会議室に「子供と語る会」を開きました、当日午前中は役場内を子供達全員で見学し、午後は元越中校長の清水万吉氏と町連合婦人会副会長の村田遊歌さんが司会となつて「子供の欠席」、「休日の利用」、「子供から見た大人同志の交際」の三つの点にわけて、それぞれ子供の世界から沢山の意見が大人側にのべられました、以下号をおつて次に記録を掲載いたします

親達も先生も もっと子供の立場に
貧しい家には福祉の手を！
私達も強い意志で……

司会　今日は皆さんご苦労様です、この会は皆さんの自覚の上から、学校と家庭をはなれて、お互いがうちとけたざつくばらんな、しかもみんなで社会を作り上るんだという気持で大いに語つていただきますよ…、では最初に子供の欠席について皆さんはどう考えておりますか、例えば「ずる休み、学用品がないから、友達が悪いから、病気だから」といろいろあるでしようね…さあどしどしいつていただきます

大袋中（立沢昭二）　ずる休み学校がきらい、子供同志のけんかに親が口だしする、親達が教育に関心がない、人手がたりないので子供をあてにするなどから休みが多いようです、そこで学校に来ている以上は家の仕事も大事でしようが、もつと私達は勉強が大事だと思いますので進んで自分から親に納得ゆく説明をする必要があると思います

櫻井中（金子あき子）　農家が忙しいと休みます、休むとそれだけ学問がおくれるのだ更に休むことになります

東中（辻末子）　農繁期にあまり私達をたよりすぎます

東中（渡辺英雄）　私達はホームルームで話しあつた結果、家が忙しくて休む大人は、子供に対し頼りすぎる貧家で休む、学校が遠いので休む、学校でいじめられるので休む、宿題を忘れて先生に叱られると休む、各地区に行事があるときや冠婚葬祭があるときなど休む、学校に身体検査があるとき、勉強が面白くないので、親達は子供の労働力を頼りすぎる等いろいろありました

司会　いろいろ休む原因が出ましたね、それでは一体、休まないようにするにはどうしたらよいか考えている人がありますか

東中（渡辺英雄）　親達は十分私達の教育に関心をもつていただきたい、貧しい家庭には町で何とか児童福祉の面ですくいの手をさしのべて下さい、私達はもつと向学心をもつべきと思います友達だから理解をもつて遊んでやり、永く休んでいた人には温い気持でむかえてやり、休んでいる人を皆んなで迎えにいくとよいと思います

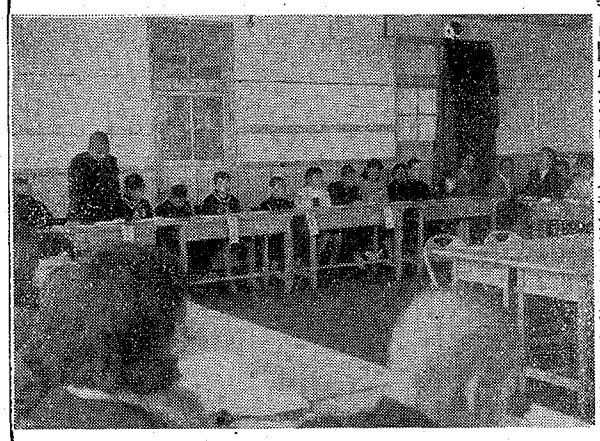
司会　そうですね、そうしてやりなさいね、その外に休む原因がありますか

大袋中（大竹ふみ子）　親が休めというとすぐ休む人があります

蒲生中（浜野保）　学校で先生に叱られる、友達に欠点をみつけられた時休む人があります

大袋中（立沢昭二）　アダ名をつけられて、それが苦で休みます

川柳中（植竹広子）　学校で勉強が出来ないので残されて休みます（次頁へ続く）



出席者
（順不同、敬称略）

大人側

町議会議長　横田正男
同　副議長　大貫亥蔵
同文教委員長　井出門平
同厚生委員長　山口浩
越谷連合P・T・A会長　中村裕彦
同連合婦人会長　石井節子
同公民館連絡協議会長

同青年団長　中島興兵衛
同小学校長会長　田川一郎
同中学校長会長　山田晴重
同社会教育委員長　菊地正
越谷町長　大塚伴鹿
教育長　池ノ谷興一郎
同民生委員会長　秋山長作
同厚生課長　染谷勇快
子供側　高志信愷

越小　中村正男・鈴木薫子
同中　井上進・板川公子
沢小　高屋映永・上原信子
同中　矢代裕一・中村勝子
桜小　後藤繁・竹内小由美
同中　石川勝孝・金子あき子
瀬尾勝利・栗原瑩子
袋小　瀬尾昭二・大竹ふみ子
同中　立沢昭二・大竹ふみ子
萩小　大久保一男・菊地美恵子
同中　河野健一・菊地静枝
出小　鷲津憲道・江原佳枝
同中　名倉生次・岩崎海保子
蒲小　清村忠雄・渡辺久子
同中　浜野保・島根千代子
川小　中村辰男・中村百合子
同中　中村勝利・植竹広子
相小　林欣一・佐藤純子
加藤進・鈴木久子
渡辺雄英・辻末子
東中　平野進・金子まつ江
新小　戸張康信・長野幸子
同中

司会者＝清水万吉、村田遊歌

人口からみた……越谷町の将来……

越谷町最近の人口動態をみますと別表にもあります通り、年々六百人以上の増加を示し、昭和卅二年四月一日現在には四万七千四百八十人を算え、人口増加率はめざましいものがあり、この分でいくと四、五年後には市制施行の第一条件である人口五万の目標にとどくことは必至であり、躍進越谷町の将来にうれしい現象であります、越谷町の将来は、産業の振興、上水道の建設、会社、工場の誘致、観光地の設置、都市計画の実施等の諸事業をひかえ、これが実現のあかつきには、今日以上の人口増加が期待されましよう、次に当町の人口変せんをたがめてみましよう

▽**越谷町人口の変遷**
（国勢調査による、いずれも十月一日現在、卅二年のみ四月一日現在住民登録）

大正　九年	二八、六七九人
大正一四年	二九、六二九人
昭和　五年	三〇、一一〇人
昭和一〇年	三一、七三八人
昭和一五年	三二、五五六人
昭和二二年	四二、七四四人
昭和二五年	四三、五〇九人
昭和三〇年	四六、二五〇人
昭和三二年	四七、四八〇人

更に参考までに一月より三月までの住民登録からみた当町の人口増減をながめてみましよう

一月から三月迄の人口増減

増加人口

	男	女	計
管外から	五三	六九	一二二
郡外から	一一七	八九	二〇六
出生	一六三	一三五	二九八
計	三三三	二九三	六二六

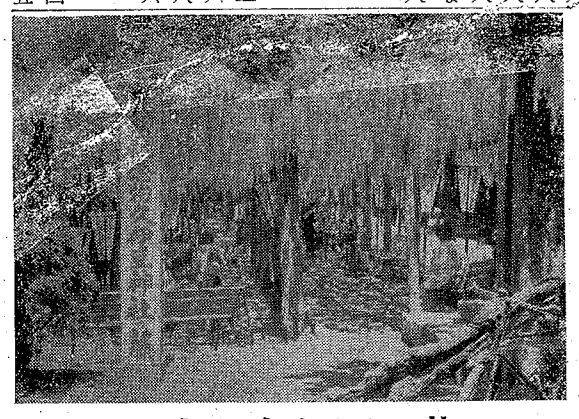
減少人口

	男	女	計
管外へ	三八	四六	八四
県外へ	一二〇	一一五	二三五
死亡	九三	八四	一七七
計	二五一	二四五	四九六

三ヵ月間の転入、転出関係を見ると、総転入が三二八人に対し総転出は三一九人であり、従つて社会増は九人であります、転入関係では管外からは（即ち県内）一二二人、東京都から一一六人、千葉県から一六人、宮城県一六人、茨城県一二人、山形県一〇人、福島県九人、栃木県五人、神奈川県四人、秋田県四人、その他の県一四人がそれぞれの県から転入を見ました

次に自然関係を見ると出生二九八人に対し殆亡一七七人であり従つて自然増は一二一人であります、社会増九人、自然増一二一人であるので三ヵ月間の増加人口は一三〇人となります

次に一日平均の人口移動及び出生数、死亡数を見ますと、人口移動一二・四人、出生三・三人、死亡一・九人となります（統計係）



見事な久伊豆の藤

越谷町の天然記念物〝久伊豆の藤〟はいまみどころ、連日観光客でにぎわつています、今年は商工会と町で消毒や肥料を施し、見事な花房となり、親子づれや学校生徒を喜ばせています

国民健康保険税 はなぜ上つたか
＝年々受診率上昇＝

国民健康保険税は本年度どうして上つたのかしらと、ご不審の方があろうかと存じますさてそれではどうして増税しなければならないのか、皆さんともう一度ふりかえつてみたいと思います、相扶共済の国民健康保険は、当町越ケ谷が発祥の地と申されております、その名目にかけても国民健康保険の健全な運営をしなければと年々努力がつづけられておりますが、ご承知のとおり何処の市町村においても赤字でなやんでおり、一般会計から毎年くり出してどうやら運営してきている現状であります、当町においても新町になつてから三年目に入りましたが、町民各位の熱意あるご協力により、国民健康保険も漸く軌道にのりつつあり、これが保険税の納税成績は年々向上していりました、然しながらこれと並行して、お医者さんにかかる給付費（お医者さんへの支払、助産費、葬祭費）が三十一年度において、前年度の二割五分も上回つています、これを皆さんから納めていただく保険税と比較してみますと、卅一年度保険税（一〇〇％完納とみて）が一三〇〇万円で、これに対して前言申しあげました、主としてお医者さんに支払う保険給付費が一、八七〇万円となつており、その差は五七〇万円という状況です、もしかりに皆さんから納めていただく保険税が九〇％、八〇％と下りますと、その差額は非常に大きくなり、国民健康保険運営に支障を来します、例えば町の一般会計から相当の繰入金を得なければならないし、その繰入金も町の財政力如何によつて増減されるものであり、又国の補助金は保険税の納入率によつて決定されるもので、収納率が悪いと予算に大きくひびいてくるわけです、したがつて前言の受診率（お医者にかかる率）が年々一割五分から二割方上昇しているところからして、現在の保険税では、到底健全な運営がのぞめなくなり、且困難をきわめるにいたつたのであります

増税（二割方）しても近隣町村より低い

そこでどうしても、二割方保険税を引上げて国民健康保険の健全な運営をはからなければならないと、これが運営機関であります国民健康保険運営審議会にはかり、二割方の増税をみるにいたつたわけであります、しかし二割増税いたしても四月一日号でお知らせの通り近隣町村平均に比して低い数字になつております

いままで当町の保険税は合併以来、今日まで増税せずにまいりましたが、以前より国や県から当町の保険税は県平均より相当低いから、県の平均標準まで引上るよう指示されてきたものであります、以上申上げましたようなわけで本年度においては近隣町村なみの増税をいたしたのでありまして、すでに皆様のお手もとに配布された令書も暫定課税ながら卅一年度の保険税額に二割方増額し、四、五、六の三ヵ月分に月割計算してあるわけであります、おつて前年同様七月においてはじめて保険税の本決定がなされ、暫定課税した四、五、六の三ヵ月分は調整されることになります（厚生課）

綴じて御保存下さい

蚊とハエの撲滅は 根氣よく手近から

「蚊とハエ」のいない運動は、口スツパく叫ばれていますが、依然として蚊とハエは後をたちません、私達はまず根気よく手近から蚊とハエの撲滅をはかつていく事が先決です、といつているうちに越冬の蚊とハエは陽気がよくなるにつれて頭をもたげわが世の春と羽ばたきをはじめました、伝染病を媒介するこの恐ろしい蚊とハエは、お互いに協力しあつて退治することに意を注がなければならないことです…、わが越谷町は昭和卅一年度に赤痢が七四名、疫痢が四三名、その他四七名という、あまり有難くない伝染病が発生、しかも全国で有数の発生率を示す地域として、その汚名をいただいております。昭和卅年度の衛生統計によりますと全国平均の発生率は人口十万人に付九十人埼玉県は一四九人とあり、わが越谷町は何と十万人につき二五七人というおどろくべき数字を示し、全国の約三倍となり、県の約二倍となつております、この事をよく皆さんと考えてみますと、如何に当町は伝染病が多いことかお気付と思います、この発生源をただせば、ことごとく蚊とハエが媒介の役目をし恐しい伝染病をまきちらしているのです、町といたしても年々これが撲滅策をいろいろ考え皆さんに協力方をお願いしておりますが、なんぜ相手が数の多い事で、これはやはり町民皆さん一人一人の認識と協力にまつよりほかありません、どうか恐ろしい伝染病を防ぐため、町と皆さんと一しよになつて、蚊とハエの撲滅をいたしましよう

行政連絡員對照に

地区座談会開く

廣報協力員会生る

動く広報活動として昨年は各地区に進出、各地区各種団体代表による地区座談会を開きましたが、本年は行政連絡員を対照として、各地区を三段階にわけ、去る一日に大袋、荻島、出羽、二日に蒲生、川柳、大相模、増林、六日に桜井、新方、大沢、越ケ谷の各地区行政連絡さんのお集りを願い、本庁会議室でそたぞれ午後一時から午後五時にいたるまで町政座談会が開かれました、特に末端行政連絡事務をたずさわる行政連絡員さんでありますので、いろいろ末端の意見や希望が活発にのべられ町政運営上に大きなプラスとなりました

次に主な希望意見を列記してみましよう（これについては町長各課長から答弁され了解ずみ）

大袋地区＝▽橋梁、道路完備は必要だ、しかるに土木費の予算が昨年より少い、砂利購入費も少い　▽償却資産に農機具があるが、除外出来ないか　▽本年度都市計画費がはじめて計上されたが、農村も関心をもつている

出羽地区＝▽国民健康保険税が二割増徴したわけは　▽開業医の自動車賃も国保で考慮ねがう　▽昨年水稲は意外の減収だ、本年の技術対策に講演会、講習会を開いて農業経営の合理化をはかつてほしい　▽病害虫防除にもつと補助して徹底せよ

蒲生地区＝▽道路がせまいから拡張してほしい、すでにやることに了解ついている三浦自動車店前及び反対側のドブがいまもつてやつてくれないか　▽農機具は税金かかるのか　▽学校の近くに池をうめた農道・通学道路があり、この道路が非常にこわれているので土も砂利も早急に入れてもらいたい　▽蒲生日加工場の道路問題を町の発展のため解決してほしい　▽登戸の糞尿溜を早く取除いてほしい　▽国民健康保険税があかつた理由と、この税を完納して無病の家庭に何の報奨もなかつたが

増林地区＝われわれ行政連絡員の事務を簡素化してほしい　▽われわれの手当に税金がかかつているわけは、またこの税金をかけない方法はないか　▽自転車税倍額というが中学に通う生徒の自転車は、免税の措置が出来ないのか　▽当地区公民館活動は最近予算的にいしゆくしてるときくが　▽蚊や蠅のいない運動をするというが薬剤配布に特別の方法があるのか　▽大袋小では蠅の駆除に蠅取器を安く作つてこれが撲滅運動を続けているこの際この蠅取器を全町に普及したらよい　▽寄附金と予算にあるがどんな費目か

川柳地区＝▽自転車税増額、町民税引下げの広報があつたが実際どれだけの減税になつたか

新方地区＝▽ある家庭の固定資産税だが、耕作面積田三反、畑一反五畝、貸付地は、はつきりしないが、それでいて相当の収入のある家とかわらないのはどうゆうわけか、速やかに実状調査ねがいたい　▽土地売買において実際はすんでおるが未登記のためいぜん売主にかかつている、これを何とか買主の方へ出来ないか　▽市街地を中心に上水道が敷設されるというがわれわれ新方、桜井等の農村地帯に簡易水道を考究してほしい　▽火災にあつた者への町税減免措置はあるか　▽中学統合の構想があるか　▽水利のことだが当地区は現在苗代の水が不足している、建設課としてこれについて何か考えがあるか

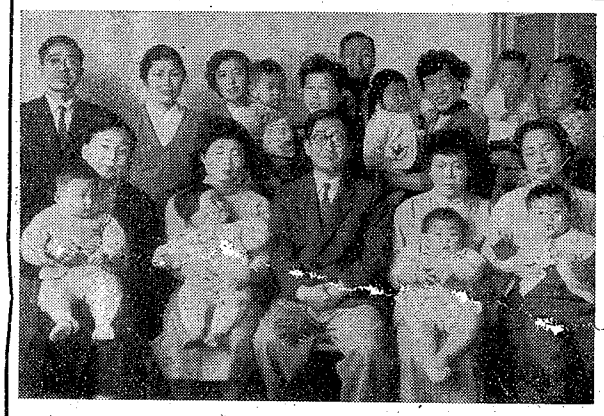
櫻井地区＝▽消防機械化により消防団員が整備されたが、当地区ではその団員の中でやめたいという人があり、やめた場合欠員の補充をみとめるか　▽火葬料金はどの位か　▽当地区は合併前から可搬式ポンプが七台もある、それですから貯水池の護岸がくずれているのでこれが費用を町で出してほしい　▽工事をやる場合は慎重を期して設計をのぞむ　▽平方おとし合流点、町の境界にある護岸がくずれているので、何とかやつていただきたい

越ケ谷地区＝▽国保税があがつたので本年は負担が重い、これでは納めることができないという意見が私の町内に多かつたことしの赤ちやんコンクールは、三月八日該当児三十二名について審査が行われましたが、その中から選ばれた優良赤ちやん表彰式は去る七日午前九時から本庁会議室で行われました、この日優良児に選ばれた七名の健康優良赤ちやんは、みんなそろつてお母さんにだつこされて会場に顔をみせました、優良赤ちやんのなかには既報のとおり県下赤ちやんコンクールに入選した三児も含まれております、まず大塚町長から賞状と賞品がおくられお母さん方もニコニコ、ついでお祝のことばをいただき、一同記念撮影してその幕をとじました

（寫真はよろこびの優秀児七名の母子）

表彰された赤ちやん

○浜陽和彦（蒲生）○会田秀子（大沢）○桜井尚美（大相模）山崎幸江（越ケ谷）○大熊和子（川柳）○岡安満希子（大沢）○小川肇（蒲生）



お母さんもニコ、ニコ

町の優良赤ちやん表彰

広報板

腸パラチフスの予防注射

毎年行われる腸パラチフスの予防注射を次の通り行います

なお学校の生徒と児童は別に学校毎に行います

▽該当者＝満三才から六〇才迄

▽手数料＝一人十円

▽日程と場所

五月十五日＝（桜井支所）同十六日＝（大袋支所・増林公民館）同十七日＝（荻島公民館）同十八日＝（出羽診療所）同十九日＝（越ケ谷小学校）同廿一日＝（蒲生公民館）同廿二日＝（川柳智泉院）同廿三日＝（大沢小学校）

▽時間は各会場とも午後一時から三時までです（厚生課）

本年度米作競作会要項決る

前年同様本年も米作競作会を次の要項により実施いたしますからふるつて参加申込み下さい

一、目的　米の収穫量向上を目途とし優秀耕作者を選抜表彰

二、主催　越谷町

三、参加資格と条件

水田三反歩以上を耕作し耕種設計、技術分析に必要な記張の出来る農家であつて耕作田は八畝歩以上で三枚以内の一団地が長方形または短形に近いもの、そして巾三間以上で三尺以上の道水路をはさまず各筆同一品種同一耕作法であること、更に本年度は特殊早植栽培と普通栽培とに区分して行います

四、参加申込期日＝特殊早植栽培は五月三十日、普通栽培は六月三十日

五、参加申込方法＝別に定める申込書に稲作計画概況表を添付の上農業連絡員を通じて農協に提出していただきます、ただし特殊早植栽培関係については概況表に特殊栽培と明記ねがいます

六、表彰の種類

普通名		早植名	
特等賞	二千円	一	一
一〃	一千円	一	一
二〃	五百円	一五	二
三〃	三百円	二〇	三

参加賞＝参加者に

七、審査方法　検見による予備審査ランダム円形三坪刈による本審査によります（産業係）

配給米の受配は毎月末

販売業者（配給所）が消費者の皆様に対する配給期限は、配給の月末まであつて、残数量は月末打切り整理することになつております、それですから毎月の配給は月末までに必ずお買上げ下さい、残数量がありましても翌月は受配できませんから御注意ねがいます（配給係）

「越谷町音頭」の作成会誕生

別掲募集要項の通りこのほど郷土色ゆたかな、だれもが親しみをもつ民謡調の「越谷音頭」を作成することになり、次の作成員をもつて本格的に作成にのり出すことになりました、郷土を愛する皆さんの御協力をねがいたします

越谷音頭作成員の顔ぶれ（略敬称）

▽広報専門委員代表　増田俊雄、石井節子、田宮忠一、永野勝美

▽商工会代表　中川多四郎、会田仁太郎、豊田正長、松村武平治

▽教委代表　山口芳文、秋山長作、瀬尾哲太郎

▽試合代表　横田正男

（一頁より続く）

越ケ谷中（井上進）　体に欠かんがあつて、悲観して来ない人や一月位休むと勉強がおくれてわからなくなつて来ない人があります

東中（辻末子）　能力の低い人は、例えば先生から国語を読みなさいといわれ読めない子は次の日から必ず休みます、このような人は向学心をもつように努めすべきだと思います

大袋中（立沢昭二）　休むということは強い意志がないからだと思います、明日より今日という気持をもつて進むことが大事です、勿論反省しつつですが

司会　沢山でましたね、いままでいつていただいた事をまとめますと、親達、先生達の理解、貧困家庭に対する処置、自己の強い意志がない等にきしますね…さつぱり小学校の方から出ませんね、それではさあ…小学校の方から発言して下さい

大沢小（上原信子）　体が悪い人

増林小（鈴木久子）　家が貧しいので学校へ納める金がない

蒲生小（渡辺久子）　友達にいじめられる

川柳小（中村百合子）　家が貧しく肉職をして生活をたてている家があります、ここの家では家校へいくとごはんが食べられないといつて休みます

越ケ谷小（中村正男）　お父さん、お母さんが早く勤めにでて親の知らないうちにずる休みする人があります

出羽小（鷲津憲道）　先生にも原因があると思います、宿題を忘れるとおこるので、そんな学校へいきたくないという気持がおきます

司会　そうですか、それでは皆さんは宿題はあつた方がよいかない方がよいか…はいあなた

蒲生小（渡辺久子）　宿題は少し位だしてもらつた方がよいと思います…あまり多くなく適当に…

蒲生中（島根千代子）　中学になると自主的な勉強（例えば家事、あみもの等）があるので、ある程度範囲をせまくしていただきます

司会　ここで皆さんと考えてみましよう、皆さんの学校で永く休んでいる人がいろいろの理由でありましよう…こうゆう人をなくするにはどうしたらよいのでしようね

大沢中（中村勝子）　永く休む人には二つの理由があると思います、一つは貧しい家庭、もう一つは結核などの病気のためと思います…それですから貧しい家には福祉の方法を町で考えていただきたいと思います

大袋中（大竹ふみ子）　家中で勉強を教えてやり、学校にもつと関心をもてばよいと思います

越ケ谷中（井上進）　大抵は学校に理解ありますが、担任の先生は長期欠席は困るというので呼びにいきますが、家族の者は何とか学校にやろうとするが、本人が逃げてしまいます、これは学ぼうという意志がたりないからだと思います

司会　大体子供の欠席についてはもう沢山のべていただいたので、つきたと思いますので、この辺で来賓の方に何かご意見をいただいて次の問題に進むことにいたしましよう…それでは来賓の方々どうぞ…

町長　いままでの皆さんの発言を一、一聴いておりましたが、親達や、先生がもう少し子供の立場になつて考えてやることが大切だと痛切に感じました、休んでいる子供さんには皆さんで協力しあつて近所おさそいして励まし合うことが大事です、体の弱い人は早くなおしてやり、貧困の家庭故休まなければならないお子さんは学用品も買えないと思います、どういう家庭がありましたら校長さんに話しをしていただき町の方へ申込んで下さい、町と国で出来得る範囲でおすくい申上たいと存じます

埼葛福祉事務所長　埼玉県で三十年度長期欠席を統計してみますと二六郡市あるなかで一番多い処は、いかん乍ら埼葛地方が多いのです、小学校では北葛飾郡が第一位、南埼玉郡が第四位とあまり有難くない数字を示しています、こういう関係で埼葛地区はこの点重視しています、貧困家庭の福祉については憲法で保障されている最低生活を維持できない家庭にはいろいろ面倒をみています、越谷町に民生・児童委員が兼職で六九名おり、いろいろ相談にあづかつてくれますのでせいぜいご利用していただく事を認識していただきます、義務教育をうけないといろいろ実社会にでて損をすることがありますので長期欠席は皆さんの力でなくして下さい

教育長　今日話しが出なかつたことがあります、レントゲン検査の結果、休まなければならない人が、休むのがいやだといつて無理に学校へ来る人があります、こういう場合はなおるべき病気もなおらない場合があるので、長期欠席における病気の点はよくみんなで話し合い考えなおしていただきたいと思います

＝以下次号＝

町宮公益質庫・越谷病院・出羽・新方診療所をご利用下さい

つた　▽先般祭だんを町へ借りにいつたら、すでにかしたあとでないといわれたが、一体町にいくつ祭だんがあるのか、もう少しふやしてほしい　柳町の道路は特に悪い、日中も歩けない道がある、何とかしてほしい

なお座談会が終つた後、広報協力員会についてはかりましたがこの会の趣旨をよくご理解下さつて全員さんせいしていただきいよいよ発足することになりました、役員は決定次第広報紙上にお知らせします、広報協力員会とは「越谷町政を末端まで浸透し、且住民の意見や希望が町政に反映して、住民の協力と理解が得られるよう、各地区行政連絡員に広報協力員を町長が委嘱し、広報協力員会を設け、各地区ごとに支会をおいてよりよき広報活動を展開する」ために組織化されるわけで、町全体の協力体制が生れることになります

今年の水稲増産計画

昨年をかえりみて對策を！

昨年の稲作の減収は、水田の多い越谷地区として、農家経済に多大の影響をおよぼし、今後の稲作改善は当地区の急務であります、そこで昨年の減収原因を探索し、これが改善の問題点をみい出し本年水稲増産への改善策をこうじたいと思います

一、昨年の水稲減収原因

先づ大きくあげられるのは、稲作末期における稲熱病の大発生だと思います、この多発がどこにあつたかといいますと、昨年の天候をふりかえつてみれば夏の内は好天にめぐまれ、地域によつて水不足を来したほどで「旱魃に不作なし」の例の通り大して心配はかかつたのですが初秋にいたり、高温多温となり記録的にも八月廿四日から九月廿一日までの天候はほとんど雨や曇の日が多く、この期にじようじて稲熱病の蔓延をはげしくしたものと思われます、稲の生理状態からしても出穂前後は病害にかかりやすい時期でもありますし、しかしながらこの様な天候下にあつて地域的に収量の差があつたように思われますのでもう少しほり下げて原因を考えてみましよう

▽栽培条件による収量の良否

1、早植と晩植の関係＝早植が良く、晩植が悪い

2、施肥量の関係＝少肥が案外よく、多肥が悪い

3、単作二毛作田の関係＝単作田がよく、二毛作田が悪い

4、保水の関係＝常に水のあつた処がよく、夏に水枯れした処が悪い

5、下層土の関係＝砂質粘土がよく、スクモが特に悪い

6、品種の関係＝早晩種よく、中性種悪い

その他二毛作に野菜を作つた田未熟堆肥の施用した田、豌豆の様な緑肥を入れた田、二毛作に下肥を多肥した田などの処は、特に稲熱病が多くみられたようです、以上の点からみますと次の様な事が考えられます

1、夏の高温水枯れと初秋の長雨が手つだつて残り肥料や、下層の有機質が分解し始め、未期の水稲に窒素過多の状態となり一層稲熱病の被害を多くしたことになります

2、早植が予想以上の収穫を得た事は、初秋の悪天候になる前収穫期となつたためで、また秋落現象がおきる前に、稲の生育がある程度進んでいたとも考えられます

3、品種によつて収量の差は、特に中性種の出穂前後の悪天候にそうぐうしたため、二五号、二九号の主力品種が稲熱病の被害を多くこうむり、特に二九号は品種の特性からみても、稲熱病に強い品種でなく大減収をみたのであります

4、水稲病害虫防除に対しては二化めい虫防除に対するホリドール、パラチオン撒布に重点をおき、水稲未期の薬剤撒布がおろそかであつたため、イモチ病の大発生が致命的減収となつたのであります

以上の点からこれが対策として本年度水稲増産計画を次の五実施項目にしぼつてたててみました

㈠、本年度の対策

㈠施肥の改善＝稲の肥料は大低の場合多すぎて失敗しています、今年こそ多肥多収の考え方を、基準肥料で安全収量をねらう考え方にいたしましよう

㈡早植被培への転換＝各地区とも昨年の経験から早植栽培を試みておられますが、そのように部落で申合せて早植地帯をきめ、無理して半湿田に二毛作を作るより、稲作栽培形式を変えてゆくべきだと思います、特に越谷地区は秋落田の多い処なので、その原因である硫化水素の発生前に稲の生育をすすめておくのが安全稲作に対する一案かと思います

㈢病害虫防除の徹底＝年々病害虫発生が多くなるので、肥料を施すと同じように薬剤撒布に重点をおきましよう、特に形式的防除でなく種子消毒から水稲未期（出穂後）まで適格な防除を行いましよう

㈣用水（灌漑水）に関する対策＝かけ水については、除草期間はよく見回り、よく面倒をみていますが、八月に入ると案外かけ水もおろそかになりがちです、稲は八月に入つての幼穂形成期（出穂廿五日前）花粉の出来る頃（減数分列期―出穂十二～十三日前）出穂期、この三期はどうしても水を必要とするときです、この時期に水が不足すると、小穂や不稔実粒が多くなつたりします、それですから用水不足の際は、ポンプで吸んでも十分水をかけるようにして下さい

㈤品種の組合せ＝品種の組合せはもう計画されたと思いますが、案外前年の収量の多い品種に主力がむけられるものです、これはあまり一、二の品種に重点をおかず、少くとも三、四の品種を組合せ、しかも県の奨励品種を作るようにいたしましよう、品種の特性をよく研究して、その特性をみきわめ十分発揮できる栽培条件にしてやりましよう

以上主なる問題点について申し上げましたが、この外地区によつていろいろ問題があると思いますが、細かいことは担当普及員と相談して今年こそ昨年の二の舞をふまぬよう、皆さと共に研究し、増産対策にいかんなき技術を発揮したいと思います

（越谷地区農業改良普及事務所）

田植えはじまる

……農家の水稲栽培による技術研究は、最近益々旺盛になつてきたと、農業改良普及事務所ではいつています（新方地区の田植え）

……といつても、これは早植栽培をする農家が多く、全町に五十町歩が作付されるとのことです、今年こそ多肥多収の考え方を、基準肥料で安全収量をねらう考え方にいたしましよう

誰れにも作れる農繁期の保存食

少しでも農繁期の疲れを少くするために主婦の手間を省くため簡単な保存食の作り方をお知らせ致します、しかしこれだけの副食で良いのではありませんから新鮮な野菜、豆類、動蛋等適当に組合せて下さい

⊙やきみそ

（材料）味噌一〇〇匁、にんじん中一本、ごま五勺、ごぼう中半本、さとう三〇匁、油大さじ五、唐辛子少々

作り方

1、ごまは炒つてマナイタの上で切り、切りごまとする

2、にんじん、ごぼうはみじんに切る

3、フライパンに油を入れ煮立つたら野菜を入れて二分位炒め、つづいて味噌も加えて炒めます

4、次にごまさとうを加えて十分炒めて仕上げます

※野菜の分量が多すぎるといけません

⊙するめの切りづけ

（材料）するめ五枚、にんじん中二本、出し昆布二尺、根しようが三かけ、醤油三合、酢一・五勺、玉ねぎ半コ

作り方

1、するめは固くしぼつた布巾でさつとふきせんいを切るようにして一寸長さの千切りとする

2、こんぶも同じく布巾でふき細く切る

3、にんじんもするめ、こんぶと同じ長さに切る

4、根しようがは皮をむいて千切り、玉葱はあればみじん切り

5、醤油、酢は一諸に鍋に入れて一度煮立て冷ましておく

6、さめた汁の中へ用意した材料を全部つけ一日に一度ずつかきまぜ二、三日頃から食べられます

※器はかめ、またはホーロ引の器でふたを必ずしておくこと、にんじんの量を多すぎないよう注意すれば、十日～十五日保存できます、味のよいのは十日頃位までこういうものは部落の何人かで共同して十日分位づつ作つておくと便利です、その時は前もつて連絡があれば伺います

（越谷地区生活改良普及員）

あちら―こちら

越谷町軍人恩給擁護連盟で銃剣道部結成大会

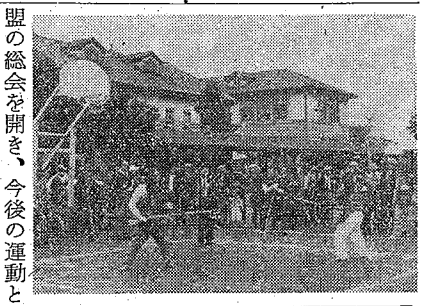
当町軍人恩連盟では、総会にかねて銃剣道部結成大会を挙行しました、この結成は会員の親睦と団結を目的とし、軍恩連盟の一部門として結成されたものでその結成大会が去る四月廿八日越谷高校において行われました当日は来賓として軍恩全連西村理事、県連委員長代理、県銃剣道委員長亀山籠士、大沢県議、大塚町長、横田町議長、その他近隣名士多数が臨席するなかに今井銃剣道部長指導のもとに猛烈な試合を展開、かつてきたえた腕前を十数年ぶりに発揮、気勢をあげて午後三時半終了した

優勝者次の通り

▽第一試合(1)榎本(2)小野寺(3)上野

▽第二試合(1)須賀(2)金谷(3)白鳥

終了後引続き講堂において本連盟の総会を開き、今後の運動と団結につき全会一致決議して盛会裡に閉会いたしました



（寫真は銃剣道部結成大会における試合）＝森田軍人恩給擁護連盟委員長より

大房青年学級で機関紙「つちくれ」発刊

大袋地区大戸青年学級では、このほど伸びゆく若人が集つておのおの互が智識を交換し、親睦を密にして、新たな自覚をもつてたち上ろうと「つちくれ」という機関紙を発刊することになりました、働く者の唯一の学び場所である青年学級も、この機関紙によつて励まされ、力づけられることでしよう、大戸青年学級は農閑期を利用して、実生活に役立つ実枝や教養を共同学習しすでに回を重ねること二年になり去る三月三十日に第二回の終了式を挙行しており、学級生一同本年こそはの意気込みです

題字「つちくれ」のとしたのはどのような意味があるのかと申しますと「つちくれ」とはいうまでもなく、土のかたまりの意味で、私達を育くみ、生活と労働の友として最後までふところにいだいてくれる大地の一魂であるというわけで、それが私達自身でもあるから、お互が集つて、土の一魂が集つて大地をなすごとく、強力な明るい社会を作ろうといつも私達はものをいう「つちくれ」になりたいという意味をふくんでおります

（大房青年学級より）

各地区の話題

大相模青年学級

大相模青年学級では、本年度第一学期を去る四月十七日開講しましたが、すでに回を重ねること八回になり、学級生の希望調査による結果から教科を選んだ関係で、毎回出席率は上々です

五月十五日以降開かれる青年学級は次の通りです（大相模青年学級中里主事より）

▽五月十八日夜八時、公民館において礼儀作法、講師は秋山公民館長

▽五月廿二日夜八時、公民館において宗教とは（人生観1）講師は加藤義詔氏

▽五月廿五日夜八時、公民館において科学常識話、講師は中里順道主事

▽五月廿九日夜八時、公民館において一学期の反省座談会、講師は中里主事

蒲生地区の出来事

その一　去る四月三十日蒲生興農会では、そ菜先進地である世田ケ谷、玉川方面を視察し、大平農協、国際家蓄研究所を見学多大の成果を得て参加者四十三人が無事観光バスで帰郷しました

その二　蒲生婦人会五十五名は春のレクリエーションとして観光バスを利用、筑波登山、野田醤油工場清水公園の観桜等を行い一日をゆつくりと楽しんで、大いに見聞をひろめました

その三　このほど蒲生郵便局では一挙に電話を四十本増設、既設廿五本として六十五本の電話を拡充しました、五月二日にはその祝賀式を公民館で盛大に挙行しました

その四　四月廿九日蒲生農協は中学校で総会を開き、新き事業として百十五万円を投じ、駅前瓦曾根の倉庫を修繕することに決りました

その五　蒲生外四地区土地改良区では用水引入れを左の通り決めました、田植用六月十五日

東中学校へ苗木寄贈

旧大相模中学校三十年度卒業生沢田好雄外六八名は、今度増林大相模両中学校が統合して東中学校が生れたのを記念し、子供の日にちなみ、苗木（ひまらやしだ二本、つげ五八本、ばら一八鉢）を寄贈しました、これはお互いに小使をためて購入した上、当日は植樹まで行つて奉仕したという世にもまれな苛持行為に、東中PTAは勿論、教職員、近隣の感謝の的になつております

（菊地校長より）

荻島婦人会で婦人学級開催

荻島婦人会では去る八日公民館で、午前、午後にわたり婦人学級を開きました、受講した会員は七十名で、それぞれ午前行われた愛育班について（講師高木町保健婦）と、午後行われた農繁期の保存食実地講習（講師山崎生活改良普及員）に、みつちりと熱心に勉強しました

（荻島婦人会より）

越谷青年団長に永野勝美君選ばる

越谷町青年団の総会は、去月二八日午後二時大沢中学校において開かれ、多数の来賓者を迎えて、昭和三十一年度事業決算並びに三十二年度予算三十二万一千余円とこれに伴う事業計画が承認され、役員改選の結果、次の役員が新に選ばれました、終了後映画観賞して五時散会しましたが、若人の集りだけあつて終始、活発に意見が開陳され、明日を背負うにふさわしい活気が会場にみなぎつておりました

▽団長＝永野勝美（大沢）▽副団長渡辺辰蔵（川柳）山口安次（増林）矢部武男（出羽）戸井田芳子（大相模）

町民の声

四月廿五日付町長宛にあつた投書にお答えします

問…前略…私は現在バス通学の一学生ですが、吉川＝越谷間の県道の悪いことといつたらありません…自動車のためにほこりや、雨の日には雨水をはねかされる等いつも頭痛の種です…町長さん、どうか私達の言いている裏土手（飯島より平和橋間）を良道にして、自転車と歩きの専用道路にしていただきたいと思います、今度東中学校が出来ましたが、その中学生のためにも通学道路としていただくことがどんなに役立つかしれません…それからここに砂利を入れることが出来ないまでも、これから草が沢山はえるので、出来たら東中学校生徒諸君に草取りを町長さんから言つていただけば出来ると信じます…後略

（越谷町一学生）

お答え

一、県道の舗装については、屢次にわたつて県当局に陳情中ですが、目下の処急に実現は困難です

一、元荒川沿いの旧県道は、草刈＝整地等を地元の協力によつて実施し、通学道路とし維持修理していくことになつています、完成後は精々御利用下さい

農地問答　農地轉用でちよつとうかがいます

問　農地法の趣旨は徹底していますか

○　実はそのことで困つているのです、農地の無断転用者がまだ見受けられるようです

問　それはどうするのですか

○　県ではこの農地の無断転用をふせぐため、知事の許可を受けた転用農地には必ず申請者が許可標証を掲示していただくことになつております

問　それが完全に守られていないわけですね、それは弱つたことです、ではその許可標識というのはどのようなものですか

○　標識の雛形はこの図のようになります

問　掲示についての注意をお伺いしたいのですが

○　掲示は許可を受けた農地の内において道路に面し、見やすい場所にしていただきます「掲示期間は許可を受けた後、工事着工から工事完了まで、つまり建築を伴うものは建築完了までとなつています、ぜひご理解とご協力をお願い申し上げます」

（以上県農地開拓課より）

（標識雛形）

30Cm以上

農地潰廃許可済証

1. 申請者　住所　氏名
2. 許可月日　昭和　年　月　日
3. 許可番号　指令　収第　号
4. 土地の所在　市、町、村、番地
5. 許可土地の面積　反　畝　歩
6. 使用目的

昭和　年　月　日

市、町、村　農業委員会㊞

25Cm以上

150Cm程度

（地上）

越警だより

皆んなの力で押売りを撃退

警察では、只今押売り取締りに全力をふるつておりますが、皆様方の協力なくしてはできませんそこで次のことを良く知つていただいて押売りの撃退に努めて下さい

一、押売りを防ぐ方法

1、隣近所とよく連絡して「物を買わないこと」を申合わせましよう

2、木戸、垣根等の戸締りをよくして来訪者を確かめ、軽々しく家の中に入れないようにしましよう

3、応待には最初から「間に合つています」と、はつきり断りましよう

二、押売りの被害にあつた時の心得は

万一皆様方の家に押売りが訪れた場合は、直ぐ隣近所の人に連絡して、派出所、駐在所または警察署へ知らせると共に、その押売りの人相、服装、態度、持ちもの、問答等その時の様子を巡査に詳しくありのままを話して下さい

▽日通の者という詐欺師に御用心

近頃、日通の者だと、称して運賃をだましとる事件が県下の各地でひんぱつしています、皆様もこんな男にだまされないように十分注意致しましよう、日通では、どんな事があつても運賃を先取りする事はないそうですから、もしその様なことがあつたら警察へお知らせ下さい

××××教育委員会だより××××

町公民館連協会長に瀬尾さん選ばる

昭和三十二年度初の各地区公民館長会議は去る十日午後二時本庁会議室に開かれ、各地区公民館長改選に伴う、越谷町公民館連絡協議会の役員が全会一致次のとおり決定しました。

▽会　長　瀬尾哲太郎（大袋）

▽副会長　深井哲三郎（川柳）

なお各地区公民館長は次の通り（　）は前任者

▽桜井＝上原麟之助（小倉初治）▽新方＝伊東演恵▽増林＝岡安忠蔵（中島与兵衛）▽大袋＝瀬尾哲太郎▽荻島＝松永悦蔵▽出羽＝増田俊雄（菊地正）▽蒲生＝中村裕彦▽川柳＝深井哲三郎▽大相模＝秋山幸之助▽越ケ谷＝清水万吉（畔上計治）▽大沢＝松永松男

当町小、中学校の研究委嘱教員決る

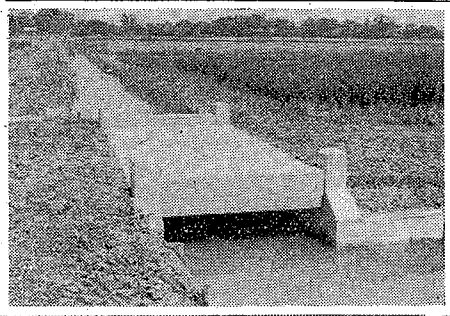
優秀な先生を励ます研究委託は、昨年以来続けておりますが、本年で二年目を迎えました、三十二年度においては次の通り研究を委嘱することに決り、その伝達式が去る十日役場で行われました（敬称略）

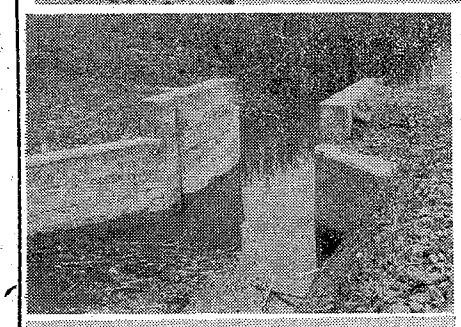
小学校の部

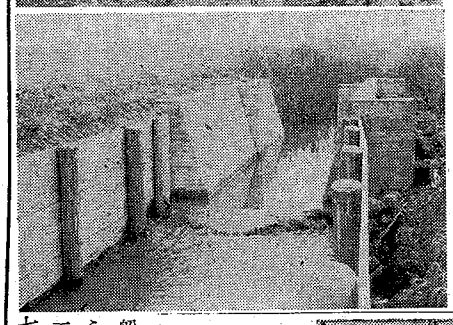
▽埼玉県東南部地方における古代遺跡の研究（越ケ谷）新井英彦▽教科外活動のあり方（大相模）小林次男▽詩の指導と実際（大沢）斎藤仲次郎▽児童画による性格の診断について（桜井）佐久間千代子▽国語学習において読解力をのばすための問題とその実態の考察（出羽）中村三郎▽小学校における算教科の基礎指導について（新方）後藤芳男▽各学年の能力表にそくした音楽教育（増林）杉山栄子▽大袋地区の郷土研究について（大袋）山崎和雄▽幼児教育の在り方とその振興策（荻島）永瀬敏雄▽理科教具の研究（蒲生）高橋正澄

中学校の部

▽クラブの実際指導（越ケ谷）駒崎謙▽中学校における全校合唱指導の理論と実際（東）遠藤春海▽中学校図工科におけるデザイン教育について（大沢）中村昇二▽中学校理科（道具と機械）教材の取扱について（桜井）大森肇▽農村中学校における遅進児の実態とその対策（出羽）関口安義▽中学における社会科歴史の学習基準について（新方）染谷泰司▽数字における誤算類型とその対策について（大袋）

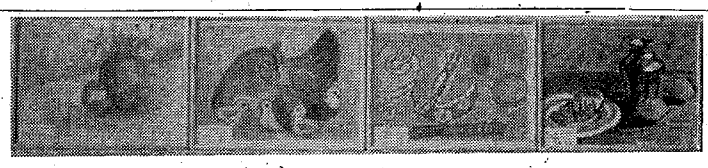




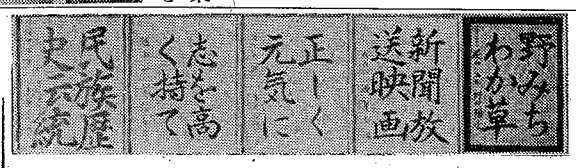


関根稔▽地区社会における実態調査を基礎にした中学校体育学習指導（荻島）松沢武▽㈠音楽の指導にあたつて子供の実態を把握するにはどうしたらよいか㈡子供の実態を把握し授業中どのような方法をとつて行けばよいか（蒲生）真藤兼二

▽図画の月例作品



▽書方の部



静物（蒲中三年）渋谷司吉

おもちや（増林小三年）島村重夫

かえつたひよこ（大袋小六年）川島栄子

静物（大袋小六年）瀬尾勝利

荻島小五年　野口陽子

増林小六年　須賀久江

大袋小六年　栗原瑩子

越ケ谷中二年　関根弘子

蒲生中三年　木島とき子

町報はこのように支出

四月分の主な支出

三十二年度四月分

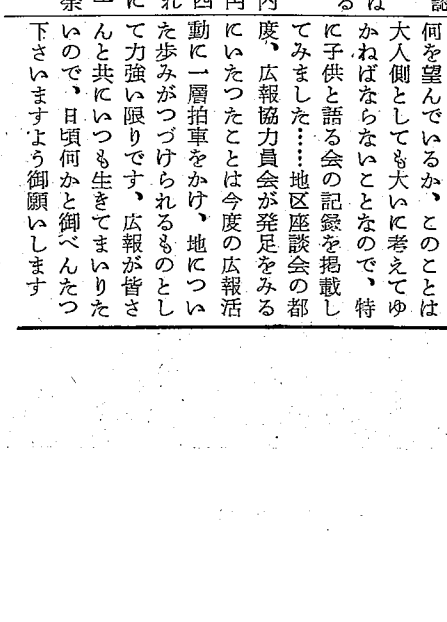
款	記	金額
議会費	交際費	一一、五〇五
役場費	給料、職員手当、通信運搬費、交際費、負担金補助及交付金、印刷製本費	一、九八九、一〇三
消防費	備品費、負担金補助及交付金、燃料費	六五八、四五八
土木費	工事請負費	九七、五二七
教育費	給料、報償費、備品費、修繕料、負担金補助及交付金、委託料	一、〇〇九、九七二
社会及労働施設費	委託料	一〇六、三二〇
保健衛生費	委託料、給料	五一〇、三五九
産業経済費	給料、負担金補助及交付金、工事請負費、原材料費	六六五、八四九
財産費	光熱水費	四、五九四
統計調査費	食料費	六六〇
選挙費		〇
諸支出金	報償費、印刷製本費、通信運搬費、他会計の繰出	五二〇、二一八
月計		五、五七四、五六五

三十一年度四月分

議会費	旅費、消耗品費	六、四二〇
役場費	給料、職員手当、消耗品費負担金補助及交付金、施設費	五二八、〇二三
消防費	雑手当、燃料費、食料費、備品費、工事請負費、修繕料	七一一、四九四
土木費	工事請負費	七〇八、九一四
教育費	報酬、印刷製本費、負担金補助及交付金、委託料、工事請負費、施設費	二、五七二、三一九
社会及労働施設費	旅費、委託料	八七、四九五
保健衛生費	委託料、通信運搬費、食料費負担金補助及交付金	一四三、二四二
産業経済費	工事請負費、負担金補助及交付金	二、二〇〇、七三八
財産費	修繕料、保険金	二六、三八六
統計調査費		〇
選挙費	旅費、食料費	一二、六一〇
公債費		〇
諸支出金	報酬、雑手当、報償費、負担金補助及交付金	二七六、八二二
月計		七、二七四、四六三

農業改良事業進む

（寫真説明）（上）これは大字船渡地内農道拡張工事にともなうコンクリート橋梁工事で、総工費六万二千円（内町補助五万七千余円）で去る四月完成したもの（中）これは大字平方地内の堰工事で、総工費五万九千円（内町補助五万二千余円）で四月上旬完成しました（下）これは大字船渡地内農道拡張工事にともなう堰工事で、総工費十一万一千円（内町補助十万六千余円）で去る四月完成したもの



ネギの疫病発生

防除に薬品撒布を

昨年は、疫病とバイラスによつて大きな被害をこうむり、相当の減収をきたしましたが、本年もすでに発生をみており、現在の状況では、昨年以上の被害になるのではないかと予想されますので、いまのうちからこれが防除にいかんのないようおねがいいたします

▽　病態＝葱の葉身花梗に発生し最初表面に青白色の病班を生じ、漸次拡大して全葉萎凋垂下し、天候湿潤の時は白色綿毛状の菌糸を生ずる、葉身を裂いて内部をみれば白色綿毛状の菌糸を認める

▽　防除法＝発生の兆があれば直ちに左記薬品を撒布すること

一、六斗式石灰ボルドウ液＝反当四斗から五斗

二、三共ボルドウ（水一斗に対して十二匁）＝反当四斗～五斗

三、ダイセン（水一斗に対し六匁～八匁）反当四斗～五斗

四、銅粉剤＝反当三K

展着剤は普通防除三倍位加用すること、以上のほかくわしいことは普及員にお尋ね下さい

（農業改良普及所）

編集後記

本号は記事の関係で増頁にいたしました……子供達が大人達に何を望んでいるか、このことは大人側としても大いに考えてゆかねばならないことなので、特に子供と語る会の記録を掲載してみました……地区座談会の都度、広報協力員会が発足をみるにいたつたことは今度の広報活動に一層拍車をかけ、地についた歩みがつづけられるものとして力強い限りです、広報が皆さんと共にいつも生きてまいりたいので、日頃何かと御べんたつ下さいますよう御願いします

懸賞募集

越谷音頭の歌詞を募る!!

本会では、広く歌詞を募ります、次の規定によつて、振るつて応募して下さい

主催＝越谷音頭作成会　後援＝越谷町並びに教育委員会、町商工会

＝應募規定＝

一、種類『越谷音頭』郷土色ゆたかで、町民みなさんの生活の中から生れた、誰もが親しみ歌い、おどり得る、新しい時代にふさわしい民謡調の歌詞を募ります

二、歌の長さ　七、七、七、七、五調（四節）で六番程度

三、締切　昭和三十二年六月五日

四、賞金　入選・一篇・五千円（税を含む）佳作三篇・一篇一千円（同）

五、版権その他　版権は一切本会に帰属します、原稿はお返しいたしません

六、入選発表審査員会を開き決定次第広報紙上でお知らせします

七、入選歌詞は一流作曲を依頼しレコードに吹込む予定

八、送り先　越谷町役場内（教育委員会事務局）

越谷音頭作成会　歌詞募集係